

# JR連合 NEWS

JRに集う  
すべての仲間の  
JR連合への  
総結集を！！

No. 21

2020年9月16日

日本鉄道労働組合連合会

8月に交通死亡労災が連続発生！20代2名を含む3名が被災！

## 事故を深刻に受け止め死亡事故・ 重大労災の撲滅に全力をあげよう！

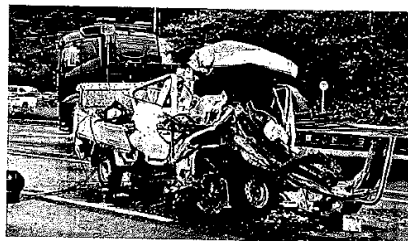
この間、JR連合は安全確立を最優先課題と位置づけ、活動を展開してきた。とりわけ「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」を最重要テーマとして取り組んできたものの、毎年のように死亡事故が相次いで発生しており、6月に開催したJR連合第29回定期大会においても、あらためて職場からの安全の取り組みを深度化すべく運動方針に掲げ、満場一致で決定したところである。

しかしながら、8月に入り、JR四国、JR北海道管内で交通事故による痛ましい死亡労災が連続発生した。JR四国の協力会社社員は、路肩に停車し、道路を横断するため、往来が途切れることを待っていたところで自家用車に追突された模様。一方、JR北海道の20代の若手社員2名は夜間作業を終え、早朝にトラックで職場に帰しようとしたところ、反対車線にはみ出して、トレーラーと正面衝突した模様。夜間作業後の交通事故はこれまで幾度も発生しており、ヒヤリとした経験を持つ組合員も多いはずだ。こうした悲劇を絶対に繰り返してはならない。

**白老衝突 JR社員2人死亡**

【白老】31日午前5時25分ごろ、胆振管内白老町虎杖浜の国道で、室蘭市高砂町1、JR北海道社員2人と、JR北海道社員2人が正面衝突した。JR北海道社員2人が死亡し、1人が重傷を負った。JR北海道によると、現場は中央分離帯のない片側2車線の緩やかなカーブ。同署は、2人のトラックが対向車線にはみ出した可能性が高いとみて調べている。

2020.9.1 北海道新聞 27面



正面衝突で大破したトラック。31日午前8時45分、白老町虎杖浜。

9月14日、JR連合は第4回執行委員会を開催し、2件の死亡労災の報告を受け、JR連合加盟全単組が交通事故の再発防止をはじめ、労使一体となって安全確立に取り組む決意を固め合った。将来を担う若手社員はもとより、すべてのJR産業で働く仲間の命を守り、安心して働き続けられる環境整備に全力をあげていこう。